

竹島は明かに日本領

外相答弁 平和条約で決っている

衆議院外務委員会

廿八日の衆議院外務委員会は午前十時四十分開会。一九二一年六月二日にワシントンで、一九二五年十一月六日にヘーグで、および一九三四年六月二日にロンドンで修正された貨物の原産地虚偽表示の防止に関する一八一九年四月十四日

のマドリード協定への加入について承認を求めるの件を上程、全会一致承認した。

次いで質疑に入り加藤勘十氏(右社)福田昌子氏(左社)より福岡―釜山海底電線の故障問題につき日本側から修理に赴く理由につき質問あり、梶井電々公社総裁、岡崎外相よりそれぞれ答弁あり。

中山マサ氏(自) 一、韓国側は新聞報道によると「竹島は韓国領

である」と発表しているが、この点についてアメリカから政府に対して通告があったか。

一、このような韓国側の一方的態度は行き過ぎだからこういう態度をとらないようアメリカ側に要請する考えはないか。

外相 一、政府に対して何らそのような通告はない。

一、アメリカに要請の必要は認めない。竹島は平和条約により明かに日本領に決まっているのだから、どの国が何といおうと意に介してはいない。